



特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

# 大森 海苔のふるさと館 ニュース 17号

## 海苔の種付け修行 ~千葉県・市川市~

9月27日(月)、私は千葉県市川市で海苔の生産を行っている海苔漁家のもとへ、研修に行きました。

生育させるための網や竹を『ヒビ』と呼びますが、それにより海苔を人工的に育てることを、「海苔の養殖」と言います。そして、今回の研修では、その「海苔の養殖」の初めの段階である、海苔の種(胞子)を網につける作業を行いました。

実は私、大森での海苔養殖は見たことが無く、現在の海苔養殖も見学するのは初めてなのです！大森での海苔養殖は昭和38年の春に終り、半世紀近くが経ちます。東京湾ではそれ以降も神奈川、千葉で海苔の生産がおこなわれてきました。

時代が進むにつれてもちろん技術も進歩します。現在ではほとんどの作業が機械化され、作業効率は上がっています。しかしその反面、設備への投資に



資金が必要になります。今回の種付け作業は全部で3日間連続の作業なのですが、その3日間使うための設備に数十万円かかるそうです。また現在は冷凍技術も進歩しており、種をつけた海苔を冷凍しておくことも可能になり、長期保存ができるようになりました。

当日は種をつけた網を海に張りだす作業も行いました。10枚1束にまとめた海苔網を、支柱に結び付けていく作業です。海の上は陸とは違い、陸では寒くはなかったのですが、海上では冷たい風が吹き、手がかじかんだのを覚えています。また、雨が降っ

ており視界が悪く、また波の揺れもあり、お手伝いすることも簡単ではありませんでした…。しかし、現役海苔生産者は別！慣れた手つきで網を広げ、次々に支柱に結んでいきます。私は悪天候により立ち会えなかったのですが、冷凍保存しておいた前日、前々日に種をつけた網も、研修当日にあわせて海に張りだしたそうです。



今回、海での作業を通じて「海での作業は経験が大事である」と、感じました。海での作業は危険が伴い、時には生死に係わります。安全に作業するには海の状態をただ見るだけでなく、予測しなければなりません。先祖代々海に出て、海苔を生育してきた中での経験則。それは家により、または、地域により違いはありますが、それは一つの宝物なのかもしれません。

今回は「海苔の種付け」でしたが、今後の作業として、少し海苔の成長した網を5枚1束に分け、使わない網を冷凍保存する作業があります。また、その他にも、冬本番の海苔とりや、漁場の片付けの棒抜き等、いろいろな作業を体験していきたいと思います。また、その経験を活かし、たくさんの方々に伝えていき、深く、広く海苔について知っていただきたい、と改めて感じさせられる研修でした。

(りょう)



# サポーター「はまどの会」の活動紹介

当館では、10数名のサポーターの方々が、海苔に関することを始め、季節飾りなどさまざまな活動で活躍していただいています。実際の活動の紹介や、感想などを、メンバーの方々に寄稿していただきました。

## 大森の海から平和の波を!!

私が“はまどの会”のメンバーにさせていただいたのは、私が通信制の大学4年生の時です。環境学のレポート作成のため、私の住んでいる“大森の海苔”のことを書こうと思った事がきっかけでした。そして、五十嵐さんはじめ、小山さんにお世話になり、レポートを仕上げ、無事卒業することができました。お礼に伺った際、サポーターとしての活動のを知り、少しでも地域のお役に立てるならと登録させていただきました。仕事もしており、活動時間も少ないのですが、そんな状態でも、海洋大学の出前講座で東京湾のことなど学習したり、千葉県へアクアラインを通り、元海苔生産者たちと研修に出かけたり、実際の活動は11月の海苔つけ体験のお手伝いでした。親子づれで“海苔つけ”される姿は素敵でした。私も初めての海苔つけを体験させていただき、潮の香りのする海苔を、今でも記念にしまっておりあります。

先月は、海苔簀作りを主人と共にさせていただきました。海苔簀作りは、地元の元生産者から、ていねいに教えていただきました。九月はお月見コンサートの開催もあり、ご近所のお子さんと一緒にゆったりとした時間を過ごしました。このように、地元の方々との交流もサポーターさんたちとの語りも、とてもうれしい時間です。10月は、羽田空港が国際化となり、大森の海は、更に、世界につながる海となるのですから、想いも新たに海外からも多くの方が、大森海苔のふるさと館に、来館されることを夢みて活動していきます。

(伊藤奈穂美)



サポーター「はまどの会」は、海苔や地域の文化などに興味のある方々に、大森 海苔のふるさと館をより広く深く活用していただくための活動です。

メンバーは、年間を通して募集しています。ご興味のある方は、ふるさと館の窓口にて詳細のチラシと応募用紙を配布しています。ご連絡をお待ちしております。

## ふるさと館のサポーターになって

みなさんこんにちは！ 私は2009年6月にふるさと館のサポーター「はまどの会」になりました。サポーター第一期生です。

丁度去年の今頃、大森ふるさとの浜辺公園前の沖、種つけされた海苔網を小舟で見に行ったあたりから実際の活動が始まったように記憶しています。その後大森の街歩きやこの夏には海苔簀の材料のヨシ刈りもしました。館内では海苔つけや袋作りも。また裏方の作業に海苔はがしや簀洗い等もあります。私はこの簀洗いが好きで、出来るだけ参加するようにしています。理由は勢い良い冷たい水で簀を洗っていると心も洗われるようで気分そう快になるからです。作業後のお茶を飲みながらのおしゃべりもまた楽しいです。



これからも自分の体調と相談しつつ、無理せず続けていきたいと思っています。皆さんもいろいろな体験をふるさと館でしてみませんか？

(M・I)



### 特定非営利活動法人 海苔のふるさと会会報「大森 海苔のふるさと館 ニュース」17号

平成22年11月1日発行  
編集・発行 特定非営利活動法人 海苔のふるさと会  
連絡先 東京都大田区平和の森公園2番2号  
TEL 03-5471-0333/FAX 03-5471-0347